

# 山東民報



## 米原市の就学援助の状況は「現実と乖離している」抜本的な改善を

### 人事評価制度は適切に運用されているか

#### 藤田議員の一般質問

#### 就学援助制度を問う

- Q、日本の教育に関する公費の現状をどう考えるか。
- A、非常に厳しい現状にある。予算の増額を国に要望していく。
- Q、米原市の児童生徒の貧困状況は把握しているか。
- A、学校現場において給食や教材費の納入が難しい家庭に注意を払っている。
- Q、米原市の「就学援助制度」の内容、適用基準、本年度適用人数、適用割合はどうなっているのか。
- A、就学援助制度は、小中学校への就学に不安を抱えている児童生徒の保護者を対象に、就学に必要な学用品費、給食費の一部を市から援助し経済的な負担を軽減し、安心して就学してもらうためのもの。適用の基準について

- は前年度所得が基準額（生活保護基準の1・3倍）以下の保護者および児童扶養手当を受給している保護者。適用割合は、小学校7・4%、中学校8・6%です。
- Q、準要保護児童生徒援助費の「単価」はいくらか。
- A、国の生活保護の単価と同じです。
- Q、現実の単価と大きく乖離しているのではないか。
- A、あくまでも就学援助制度は、就学への経済的不安を軽減のため必要な学用品費の一部を援助しようとする制度です。
- Q、申請書に、民生委員の見欄や結果通知を民生委員に送ることの同意書があるがなぜ必要か。
- A、平成23年度以降は原則不要としている。必要に応じて、民生委員の意見や相談をさせていただく場合もありますので、事前の承諾もらっている。
- Q、必要な時に必要な援助が受けられないのでは。
- A、前年分の所得によって判定する6月以降となります。

- Q、隣の長浜市では、小学校給食費の公費負担を始めた。就学援助制度の抜本強化を図っては。
- A、本市の就学援助基準は、県内では2番目に高い基準です。給食費についても、実費相当分を支給している。
- Q、市長は教育の貧困化の現状についてどう考えるのか。
- A、特に奨学金制度は不十分と考えている。福祉や医療にすすむ人に給付型奨学金。また、人口増につながる奨学金制度を検討していきたい。

#### 人事評価制度を問う

- Q、市の職場は生産性を追求する民間職場とは大きく異なっている。人事評価制度が、職員間の対立となり、職員の意欲を削ぎ、逆に働きにくい職場となることはないか。
- A、半年ごとに能力や業績に基づき、S・A・B・C・Dの五段階で評価し、それが勤勉手当や昇給に反映する。判定に苦情や相

#### 原発避難者支援の請願採択

談する職員はいるが、手続きに従い対応している。市は組織全体の士気高揚、公務能率の向上に寄与できるよう、制度上、改善すべき点には迅速に対応する。

今回の定例議会でも原発事故による自主避難者用無償住宅支援の継続を求め、意見書が採択され、可決されました。今回の請願は、原発事故による避難者用無償住宅支援の継続を求める滋賀の会及び彦根・愛知・犬上原発のない社会をつくる会の山中悟さんが提出さ

明けましておめでとうございます。



米原市市会議員  
**藤田正雄**  
55-1128

<http://www.jcp-mabarashigidan.com/>

れ政策研究会マイバラの中川雅史議員と共産党市議団の藤田議員が紹介議員として提出されたものです。政府は、現在の原発「自主避難者」への住宅支援打ち切り、避難区域をつぎつぎに解除し、全ての避難者の支援を打ち切ろうとしています。今回の請願は、原発事故の被害者である「避難者」に「貧困か被曝か」を迫る「人道に反する施策」であるとして中止を求めたものです。

### 「昨年議案を振り返って」

#### 庁舎問題どう対応したのか

昨年、米原市議会においては庁舎問題が大きな課題として議論されました。3月定例会では、賛成13対反対7で2/3に届かず否決されました。6月定例会で同じ条例で3人が態度を変え賛成16対4で可決されました。日本共産党議員団は今回の庁舎

位置については駅東口の狭い場所で市全体の西端で住民は納得していない。また分庁舎方式に対して不便を感じていない。各地域に職員が配置されている重要性などを主張し、最低限2庁舎方式にすべきと主張して反対を貫きました。現在山東庁舎の利活用が庁舎に関する特別委員会でも議論になっており、住民にとって利用しやすい庁舎問題に取り組んでいきたいと考えています。

### 議員の倫理問題 厳しく問われた

また議員の倫理問題で2つの問題が大きく取り上げられました。1つは一昨年の市施設の備品購入で、市会議員の係る会社が落札しました。そのことで市民に疑念を抱かせるとして、昨年3月議会で議員倫理条例の市業務の請負に関する規定が強化されました。

議員名	会派名	原発避難者 支援請願
太田幸代	日本共産党議員団	○
清水隆徳	日本共産党議員団	○
藤田正雄	日本共産党議員団	○
今中力松	政策研究会マイバラ	○
竹中健一	政策研究会マイバラ	○
中川雅史	政策研究会マイバラ	○
堀江一三	政策研究会マイバラ	○
山本克巳	政策研究会マイバラ	○
吉田周一郎	政策研究会マイバラ	○
音居友三	創政クラブ	×
北村喜代隆	創政クラブ	×
中川松雄	創政クラブ	×
前川明	創政クラブ	×
松宮信幸	創政クラブ	議長
的場收治	創政クラブ	×
北村喜代信	清風クラブ	○
滝本善之	清風クラブ	×
鏑田明	清風クラブ	○
澤井明美	無会派	×
松崎淳	無会派	×
結果		採択

2つ目は議員のブログでの発言です。市民や議員を侮辱する内容について、条例に基づき政治倫理審査会が開催されました。本人に「役職辞任」の勧告が出されましたが、これに従わず総務教育常任委員会が6・9月の2回の定例会で開催出来ない結果となりました。12月議会では、役員構成を変えることにより、常任委員会には開催されましたが、議員として自分たちで作った倫理条例を守るのは市民に対する約束です。私たち日本共産党米原市議団は、毎回議会での

### 署名活動広がる

「乗合タクシー制度の利用改善を求める会」（会長・亀田友子三吉自治会長）の署名活動が広がっています。米原市内すべての自治会に署名簿が届けられました。事務局長の富田茂（東番場自治会）さ

一般質問に立ち市民の立場で市当局と議論を重ねてきました。本年度は4年目の最終年度となります。選挙で公約した内容を再度確認し、市民の皆さんの要求実現のため頑張っていきたいと考えています。

### 雑感

今年、2月の市長選挙、10月の市議会議員選挙、また総選挙も噂されています。市長選挙では、現職の平尾氏と市議会議員の松崎氏が立候補を表明されています。平尾市政については、日本共産党米原市議団としては、是非々の対応をしてきました。「子ども医療費」の無料化、幼稚園保育園保育料の第2子以降の無料化、学校の施設の改善など賛成してきました。しかし、庁舎問題や大企業優遇の補助金など厳しく反対もしてきました。一方の松崎氏の公約ですが、統合庁舎の「白紙撤回」と「米原市を変える」の主張はされていますが、現在の何が問題でどう変えるのか。具体的な市民の福祉や教育に対する方向がわかりません。またブログ問題では、「お騒がせした」としていますが反省になっていない。

連絡先・5410901